

福島第一原子力発電所6号機 非常用ディーゼル発電機（B）からの油漏れについて

< 参考資料 >
平成25年7月23日
東京電力株式会社

□発生事象

7/23朝方、パトロール中の運転員が6号機非常用ディーゼル発電機(B) (D/G 6B)を巡視中に動弁注油タンクのレベルが高いこと、床面に油があることを発見した。

□時系列

- 6:25 動弁注油タンク油面が高いこと、動弁注油タンク補給弁が微開
～6:40 となっていることを確認。全閉操作実施。
D/G 6B 下部に3m×2m×1mm(約6L程度)
の油溜まり発見、鉛筆芯1本程度継続中。ドレン受けがずれていた。
- 6:44 免震棟宿直当番に連絡
7:05 消防連絡
7:12 自衛消防隊現場到着
10:19 消防現場到着
10:24 消防現場確認終了
10:30～11:13 油拭き取り実施

□漏えい量

床面に3m×2m×1mm(約6リッター程度)
(7/23時点:床面に5m×5m×1mm(約25リッター程度))

□推定原因

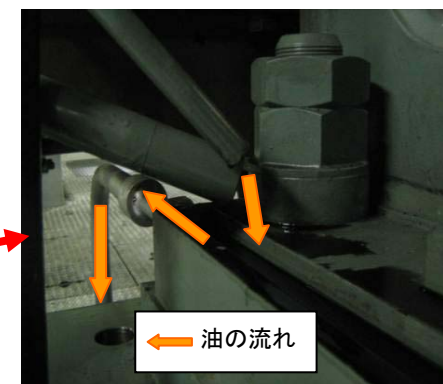
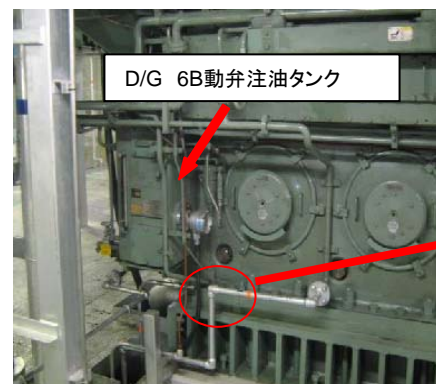
7月22日朝方から同日10時30分の間に補給弁が開き、プライミングポンプが1時間中10分間自動運転するなかで、潤滑油が徐々に補給されたため同タンクからオーバーフローしたと推定。

(7/11時点:7/11に動弁注油タンク油張りを実施した際、補給弁の閉操作が完全ではなく、補給ラインの温度設定(35～40℃)と50分に1回10分間の自動運転する潤滑油プライミングポンプの圧力により、徐々に補給された。

ここ1週間気温の低下により、昨晚連続運転の状態となり、動弁注油タンクの油面が上昇し、オーバーフローラインより漏えいが発生したと推定される。

□対策

1. 動弁注油タンク補給弁「閉」チェーンロック実施
2. 類似弁に取り付けているスプリング固定器具取り付け実施
3. 類似弁へのチェーンロック実施
4. ドレン受けが動かないようにガイドを設置予定。
5. D/G建屋等の現場扉の施錠管理の徹底



動弁注油タンク補給弁「閉」
チェーンロック実施

※その後の調査により、漏えい量および推定原因が確定したため資料を差し替え(平成25年8月7日)